

[もしもに備えて]

こどもの救急

日本小児科学会の「こどもの救急」では、夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。



対象者 生後1か月から6歳までのこども

小児救急電話相談



こどもの急な病気などに看護師が助言します。お気軽にご相談ください。

#8000 または ☎(099) 254-1186

相談時間

平日・土曜日 19:00～翌朝8:00
日曜日・祝日・年末年始 8:00～翌朝8:00

夜間におけるこどもの急な病気について、看護師等が応急処置や医療機関の受診の必要性などの助言を行います。おおむね15歳未満のこどもが対象です。

消防テレホンサービス

夜間・日曜当番医案内番号
☎(0996) 27-1199

119番するときは

救急の場合は落ち着いてあわてず、
下記の内容を伝えましょう。

● **救急**であることを伝える



火事ですか？
救急ですか？

救急です



● **救急車に来てほしい住所、名前**を伝える

住所 「薩摩川内市〇〇町〇〇...」

名前 「〇〇〇〇です」

● **こどもの年齢・症状**を伝える

年齢 「〇歳です」

症状 「〇〇〇〇です」

● **あなたの連絡先**を伝える

電話 「〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇です」

※携帯電話からかける場合は、位置を正確に伝えるため、よくわかる目標物(付近の建物の名前や通りの名前、交差点)を伝えるようにしましょう。

広 告

小児・周産期医療 (地域周産期母子医療センター)

周産期の救急医療に対し、
関連各科の医師・スタッフが緊密な連携をとり、
安心して子供を産み育てられる
地域づくりに貢献



なでしこ保育園 (病児保育室も併設)

診 療 科

内科、消化器内科、小児科、産婦人科
外科・消化器外科、小児外科、整形外科
皮膚科、泌尿器科・小児泌尿器科
眼科、放射線科、病理診断科

受付時間 午前8時～午前11時

診 療 日 月曜日～金曜日

※平日午後、土曜日午前は一部の科で診察をおこなっています。



社会福祉法人
済生会川内病院
SAISEIKAI SENDAI HOSPITAL

TEL 0996-23-5221 FAX 0996-23-9797

〒895-0074 薩摩川内市原田町2番46号



こんなときは 要注意！

いつもと様子が違うのは、こどもからのサインです。
こどもの病気・症状をみるポイントを確認しましょう。

太字…119番すべき症状

顔色・表情

- 顔色がいつもと違う (明らかに悪い)
- 表情がぼんやりしている
- 視線が合わない
- 目つきがおかしい
- 無表情である

目

- 目やにがある ● 目が赤い
- まぶたが腫れぼったい
- まぶしがる

耳

- 痛がる ● 耳だれがある
- 耳をさわる

胸

- 呼吸が苦しそう ● **ゼーゼーする**
- 胸がへこむ

皮膚

- 赤く腫れている ● 湿しんがある ● カサカサしている
- 水疱、化膿、出血している ● 紫斑がある
- 肌色が蒼白である ● 虫刺されで赤く腫れている
- 打撲のあざがある ● 傷がある

1 頭

- 頭を痛がって **けいれんがある**
- 強くぶつけて出血が止まらない、意識がない



7 手足

- 手足が **硬直している**

3 鼻

- 鼻水がでる
- 鼻づまりがある
- 小鼻がピクピクしている (鼻翼呼吸)

5 口

- 口唇の色が悪い (紫色(チアノーゼ))
- 口の中が痛い
- 舌がいちごの様に赤い

6 のど

- 痛がる ● 赤くなっている
- 声がかれている ● 咳がでる

睡眠

- 泣いて目がさめる
- 目ざめが悪く機嫌が悪い

食欲

- 水分が摂れず食欲がなく **意識がはっきりしない**
- 普段より食欲がない

9 お腹

- 激しいお腹の痛みで苦しがる
- **嘔吐が止まらない**
- 張っていてさわると痛がる
- 股の付け根が腫れている

10 便・尿

- 回数、量、色の濃さ、においがいつもとちがう
- 下痢、便秘 ● **血便が出る**
- 白色便が出る ● 血尿が出る

出典 「保育所における感染症対策ガイドライン」(こども家庭庁)
(<https://www.cfa.go.jp/policies/hoiku/>)、
「救急車利用リーフレット」(総務省消防庁)
(<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post9.html>)
より加工編集して作成

全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)

症状の緊急度を素早く判断!!!救急車を呼ぶ目安に!!!
総務省消防庁が提供しているアプリです



もしもに備えて



こどもの目線で
見ると**危険**が
いっぱい!

うちの**危険箇所**チェック

おうちの中には、こどもの興味を引く「危険」がたくさんあります。
あてはまる場所やものの位置をしっかりと確認して、事故対策を家族で考えておきましょう。

ベランダ

踏み台があると登って転落の危険
ベランダの柵の幅は大丈夫?

キッチン

刃物でのけが、熱い鍋などでのやけど
2歳くらいになると背伸びすれば
届くので注意が必要

階段

転倒・転落

ビニール袋

窒息の危険、誤飲

電気ケトル

転倒時の湯漏れによるやけど
湯気(スチーム)をさわってのやけど、コードをひっぱる・かじる

アイロン

やけど
コードをひっぱる・かじる

テーブル

テーブルクロスをひっぱって
上のものの落下によるけが

おもちゃ

誤飲
小さなおもちゃ
は誤飲の可能性があり危険!

こんなときの対処法

① 頭を強く打った!

意識がない場合は頭を高くして寝かせ、耳や鼻から血などの液体
が出ている場合は出ている方を下にして寝かせます。

その後すぐに救急車を呼びましょう。

※他にも、吐く・顔色が悪い・普段はかかないびきをかくなど、
異変が見られる場合はすぐに病院へ連れて行きましょう。





こんなときの対処法

② 胸やお腹を強く打った!

静かに寝かせて、様子を見ます。

打ち身やあざが出来た場合、冷たくしたタオルで患部を冷やしてあげましょう。

※顔色が悪い・吐くなどの異変が見られる場合、救急車を呼ぶか、すぐに病院へ連れて行きましょう。



こどもを
守る

防災グッズチェックリスト

大人の防災グッズにプラスしよう！

いざという時のために、備えておきたい防災グッズ。大人の防災グッズにプラスして、こども用の防災グッズも見直し、備えておきましょう。



緊急避難！

おさんぽバッグにプラス

- ☑ 母子健康手帳
- ☑ 止血パッド
- ☑ 笛
- ☑ お菓子 (キャラメル・あめなどカロリーの高いものを少し)
- ☑ 抱っこ紐 (ベビーカーのときも持ち歩くと、避難時に便利です)



自宅から避難！

非常持ち出し品にプラス

- ☑ 防災頭巾・ヘルメット (着て行く)
- ☑ レインコート
- ☑ マスクや軍手
- ☑ 衣料品3日分 (特に下着)
- ☑ おむつ3日分
- ☑ おしりふき (ウェットティッシュ)
- ☑ 粉ミルク3日分
- ☑ 哺乳瓶 (使い捨てタイプ) (個包装の物が便利！)
- ☑ こどもの食料3日分 (月齢に合った好きな物)
- ☑ 離乳食スプーン
- ☑ 食品用ラップ (スプーンや皿に巻けば汚さず使える)
- ☑ 紙コップ&ストロー
- ☑ 軽くて小さいおもちゃ (おり紙など)



もしもに備えて



広告

医療法人 祥隆会

循環器内科

内科

リハビリテーション科

KUMON

くもん学習療法
導入施設

手塚医院

手塚医院通所リハビリテーション

薩摩川内市大小路町43-25

☎ 22-7400 FAX 22-7237

Well Garden

サービス付
高齢者向け住宅

ウェルガーデン光

～あなたがあなたらしくあり続ける
生活のお手伝いいたします～

一般介護予防事業

薩摩川内市大小路町43番17号

おたっしや村
今日も明日もおたっしやで!!

☎ 20-7185
FAX 23-6788

ヘルパーステーション となり組

TEL(0996)29-5933 FAX(0996)29-5501

(有)ファミリーメディカル

災害後自宅で過ごすための！

非常用備蓄にプラス

- ☑ 飲料水7日分（1人1日3リットル、粉ミルク用も）
- ☑ こどもの食料7日分（月齢に合った好きな物）



ベビーフードはそのまま食べられる瓶や容器入りが便利

- ☑ 粉ミルク7日分
- ☑ おむつ&おしりふき7日分



「使える備え」にしよう！

こどもの防災グッズのそろえ方のコツ！



☑ 買い置きを備蓄に！「ローリングストック」を活用！

普段から多めに買い置きをしストックにする「ローリングストック方式」を活用しましょう。年齢に合わせて変化していく非常食や消耗品（おむつなど）の管理がしやすくなります。



☑ こどもの食べられるものを用意しよう！

防災用のお菓子やパン、フルーツの缶詰などこどもが食べ慣れたものや好物を用意してあげましょう。アレルギーがある場合は、少し多めにアレルギー対応食を用意しましょう。



☑ 持ち出し品は持ち出せる重さに！



持ち出し品は最小限に、用途が併用できるものを活用しましょう。特に小さいこどもがいる場合、こどもを抱っこした状態で一緒に持てる重さか一度確認してみてください。

☑ 避難生活の不安をやわらげよう！

雑音が苦手な子はイヤーマフを



その子ならではの日常に必要なものがあれば用意を。また発熱材やカセットコンロ&ガスボンベを用意しておくと、温かいものを食べることができ、気持ちもほっと暖まります。

こんなときの対処法 ③ やけどをした！

すぐに患部を流水や氷のうなどで冷やしましょう（20～30分が目安）。

広範囲・全身にわたる場合はすぐに救急へ連絡してください。

衣類は脱がさずそのまま冷やします。

※やけどは医師の診察を受けるまで、薬を一切使用しないでください。



もしもに備えて

